

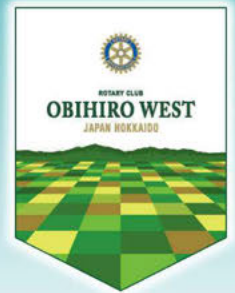


# 帯広西ロータリークラブ

## 第2493回例会

# 会報

### 2024.9.19



■RI第2500地区スローガン■

ロータリーに参画しましょう！  
誰かのために、あなたのために、自分のために

■クラブ・テーマ■

「出会い」「気概」「熱意」

**会長報告**

飯田 正行 会長

皆さん、こんにちは。会長報告させていただきます。

国際ロータリーが活動参加を強調する月間があります。9月は基本的教育と識字率向上月間となっております。それとは別に日本が独自に月間テーマを定めている月が9月と10月であります。今月は『ロータリーの友』月間となっております。『ロータリーの友』を流し読みしてみましたら、何と当クラブの近藤真治君が顔写真付きで載ってるではありませんか。《地区のみなさまへ》というコーナーでは立派なコメントも書かれていて、普段と違う近藤君の一面が見えたなと思っております。他の友地区代表っていうんですか委員の皆さんは在籍も長く、それぞれのクラブで重鎮のような方が多いように見受けられました。近藤会員にもそんなメンバーに臆することなく2500地区の代表として活躍していただく事を期待しています。きっと友地区に選ばれた時には憂鬱な気持ちで東京に行くのかときっと思ってたと思いますが、やってみなければわからない事も経験してみなければわからない事もたくさんあります。ロータリーに入会しなければ、一歩踏み出さなければ経験できない事もあったかと思えます。今後出会うこともなかった仲間と新たな出会いがありますので頑張ってくださいと思っております。

また、今年は地区に多くのメンバーを志向しています。ぜひ積極的に活動して出会いを深めていただければと思っております。本日の例会は国際奉仕委員会担当の例会になります。年度初めに西委員長にはグローバル補助金について理解を深めるようにと。また、グローバル補助金を利用するに当たって事業をする為のタイムスケジュール、工程表を明確にしてほしいとお願いをいたしました。メンバーの皆さんも今後グローバル補助金の事業に携わっていくような場面があるかと思っておりますので、それぞれの知識を深めていただければと思えます。

それと、最後になりますが、昨日の新聞に当クラブの会友であります細川周作さんの訃報の記事が載っ



ておりました。今日の午前中に長男の方とお電話でお話をさせてもらいまして、お参りにというお話をしたんですけども、奥様が一人で居るのでちょっとそれは…という事でしたので、会社の方に会で定めたルールに従ってお届け物をしてまいりたいと思っておりますのでご報告させていただきました。

以上で終わります。ありがとうございました。

**会務報告**

平田 宗利 幹事

①RI2500地区大会(帯広)開催のご案内  
日程 10月12日(土)  
～10月13日(日)

※詳細は別紙

場 所 帯広市民文化ホール 他

《大会1日目12日(土)》

記念チャリティゴルフ大会 7:00～ 帯広国際CC

《大会2日目13日(日)》

登録受付 9:15～ 帯広市民文化ホール

本会議 10:00～11:45 ♪

記念講演・本会議 13:00～16:50 ♪

大会記念懇親会 17:20～19:00

ホテル日航ノースランド

②帯広南RC、9月23日(月)の例会は、祝日のため休会と致します。

帯広東RC、9月24日(火)の例会は、休会と致します。

③帯広RC、家族野遊会開催のご案内

日 時 9月23日(月) 午前10時

場 所 グランピングリゾート フェアリーエンドルフ

※尚、9月25日(水)の繰上げ例会と致します。

④帯広西RC、ガバナー公式訪問夜間例会開催のご案内

日 時 9月26日(木) 午後6時30分

場 所 北海道ホテル

二次会 シャレード

※尚、アルコールが出ますので、飲まれる方は運転をお控え下さい。

小谷ガバナーより頂きましたネクタイ・スカーフを着用下さい。



会 長 飯田 正行 副会長 西藤 博行 会場監督理事 谷脇 正人 発行：広報委員会 (副)山村 かおり  
幹 事 平田 宗利 副会長 北川 勝啓 プログラム委員理事 辻田 茂生 委員長 菊地竜太郎 (副)金澤宗一郎



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)  
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル東館3階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

### ⑤帯広南RC、夜間移動例会開催のご案内

日時 9月30日(月)午後6時30分

場所 チロリン村

☆昨年の年末、歳末助け合い共同募金という事でさせて頂いた分の感謝状が届いております。

こちらの方は事務局の方で保管いたします。一応ご報告いたします。

### 委員会報告

地区大会実行委員会

古田 敦則 幹事

皆さん、こんにちは。地区大会実行委員会でございます。



まず、当日の出欠の確認という事で皆様にご案内を差し上げてますが、あと14~15名位まだお返事が来てませんのでお返事を頂くようお願いいたします。すでに委員会の方から個別に作業の依頼をされているところもありますが、そのことも含めて整理して当日の役割分担については今月末位には皆様にご提示できるように準備を進めておりますので、ご協力を頂きたいというふうに思います。今日は、川田商工会議所会頭が私の隣におりまして、会頭は当日、来賓としてご出席いただきますので、日本一の挨拶をされるという事で宜しくお願い致します。この後、この例会が終わりましたら実行委員会を階段横の部屋で行いますので出席対象者の方は宜しくお願い致します。

いよいよ残り20日でございます。頑張ってくださいますので宜しくお願い致します。ありがとうございます。

### 伊東 肇 会員

皆さん、こんにちは。伊東肇会員、先般のご葬儀の関係でしばらく例会に出られないという事で、私の方に伝言を賜りましたので代読させていただきたいと思います。

~先般の父の葬儀に際しましては遠方にも関わりませず、お香典ご供花など皆様よりご厚志を賜り心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございます。~という事で伝言を賜っております。あわせて青少年育成基金にご寄付をお預かりしましたのでクラブにお渡ししたいと思います。皆様、ありがとうございました。

### ニコニコ献金

親睦活動委員会

近藤 真治 会員

西 麻衣子 国際奉仕委員会 委員長



本日、担当例会です。宜しくお願い申し上げます。

岡田 英樹 会計

伊藤会員に続いて月例バックティードで優勝しました。

近藤 真治 会員

発表させて頂きましたのでニコニコさせて頂きませす。

ニコニコ  
献金

9月19日

6,000円

累計

229,000円 (9月19日現在)

### ◇プログラム

西 麻衣子 国際奉仕委員会委員長

## 「グローバル補助金とは」



皆さん、こんにちは。国際奉仕委員会の担当例会という事で「グローバル補助金」についてまとめさせて頂きました。簡単なさわりのところになりますけれども説明させていただきます。よろしくお願いいたします。

ロータリーには補助金制度というのがありますけれども、その中で「グローバル補助金」というものがあります。

西クラブではまだ利用した事が無いという事で今後活用することが出来ればという事を飯田会長からも伺っておりまして。そのグローバル補助金がそもそもどのようなものか。聞いた事はあるけどもよくわからない。もちろん私自身も全然理解がなかったので、そういう方が実際は多いんじゃないかなと思っています。なので今回はその基本的な事を皆さんにお伝えできるようにまとめてきました。“世界でよいことをしよう”という言葉をよく聞きますけれども、グローバル補助金はロータリー財団から支給される補助金です。ロータリー財団というのは国際ロータリーとは少し別の組織になっていまして、ロータリアンからの寄付金から成り立っている財団という事です。1917

年に発足して、その管理は管理委員会というものに管理されているという事です。私たちロータリアンから集まる寄付金が元になっていて、その一部が補助金として戻ってくるとその補助金を活用して様々なプロジェクト、“世界でよいことをしよう”に則って奉仕活動を行っていくためのものです。補助金と言えば地区補助金というものを使う事もあります。そこで、地区補助金とグローバル補助金の違いについて簡単にまとめてみました。

まず、地区補助事業を行う対象地域に違いがあります。地区補助金はその地域内で行うプロジェクトに限定されているという事に対し、グローバル補助金はいっと大規模で複数の地域や国を跨いで使われる事が多いです。

次に予算の規模ですけれども、地区補助金は一事業が大体40~50万程度のものが多いです。その内補助率は60~70%ぐらい。それに対してグローバル補助金は一事業が30,000ドル以上である必要があります。最近の為替で計算すると、大体450万円前後の事業が対象になります。申請方法についてですけれども、地区補助金は年度毎に申請をして事業も年度に終わらせる必要があるのに対して、グローバル補助金は申請の時期、実施期間は特に制限が無いという事ですので期を跨いでもOKという事が違いです。



また、補助金を利用する為にはロータリー財団からの承認が必要になるという事です。この補助金の利用の目的ですけれども、これは根本的な所には変わりはないかと思いますが、地区補助金が教育、健康、環境保護など地域の社会に密着した活動であるのが目的であるのに対して、グローバル補助金もっと世界的な課題解決に繋がる活動であるという事が目的にされます。

その他、グローバル補助金を利用する為の条件として、事業をしてもらう国側にもロータリークラブがあるという事が必要条件になります。

また、事業を行うクラブ、行ってもらうクラブ双方がクラブの資格認定というものがあるそうなんですけれども、それを受けているという事が前提条件になってます。ロータリー財団のこの財源が私たちが寄付する年次基金という事ですから、これは地区補助金、グローバル補助金を活用するために必要不可欠なものが寄付という事になります。この年次基金は3年間世界のストックマーケット等で運用されて3年後に寄付の47.5%が国際財団活動資金（WF）に、もう47.5%が地区財団活動資金（DDF）に振り分けられて還元されるという事です。これを“シェアシステム”と呼んでるそうです。

もう少しシェアシステムについて詳しくみていきます。ロータリー財団への寄付金はこのシェアシステムという仕組みを通じて人道的なプロジェクト、奨学金、職業研修チームを支える補助金に生まれ変わります。地区内のクラブからの年次基金への寄付金は管理運営のために5%が差し引かれたあとロータリーの年度末にこのWFとDDFに分けられます。地区は寄付の3年後にこのDDFをクラブや地区、または財団のプロジェクトの為に活用できます。そして、DDFの50%（半分まで）を地区補助金として使用することが出来て、残りをグローバル補助金の申請だったりポリオプラスやロータリー平和センターへの支援、他の地区への寄贈の為に使う事が出来るそうです。例えば年次基金シェアへのご寄付と書いているようにここに寄付をしたとしますと、この寄付が3年間投資運用されます。3年の投資期間を経て各種のプロジェクトに活用されるんですけれども、この一部がこのDDF地区財団活動資金となります。DDFは地区や海外での奉仕プロジェクトに活用できてその用途は地区が決定権を持っています。もう47.5%のWFは国際財団活動資金となりまして、この資金はグローバル補助金や各種の財団プログラム、または財団管理委員会が最も必要だと判断した目的の為に使用されるという事です。つまり、この地区補助金とグローバル補助金の両方に積極的に参加している地区というのは、それだけ一旦自分たちが行った寄付をまた活用して奉仕を行っているという事ができます。

また、3年間運用してから活用出来るようになるので、例えば今年度で使用できる資金は3年度前の年次基金の寄付金に基づいています。なので、将来に充実した活動を実施できるようにする為には毎年の寄付金を継続して財団を支援するという事が非常に重要だだと思います。このシェアシステムについてももう少し詳しく表した図があります。この図は年次基金にロータリー財団が寄付されたお金が3年間

運用されて、3年後地区に戻ってきてどのように補助金として活用されるのかを示した図です。まずこのDDFとWFに分けられて475万円ずつ振り分けまます。これは1000万円の運営費が例えになってますけれども47.5%ずつ分けられます。

その内、DDFの50%が地区補助金として活用されます。残りのDDFはグローバル補助金事業の資金かポリオプラスやロータリー平和センターなどの寄付に使われます。一方、WFの方はWFが推奨しているポリオプラスや災害や紛争があった場合の寄付の他、グローバル補助金事業が行われた際に（ちょっとわかりづらいんですけど）DDFの80%相当額がその上乘せとしてWFからグローバル補助金に充てられるという事なんです。ちょっとわかりづらいと思うんですけど、例えば100万円がグローバル補助金として支給される場合はその80%に当たる80万円がWFから上乘せで支給されて合計グローバル補助金としては180万円使えるという事になるそうです。今回、グローバル補助金のチームリーダーにこのグローバル補助金について一度ZOOMで説明を受けたんですけども、“この3年前の年次基金というのは具体的にいくら集まっています3年間運用した結果、今年度はいったいいくら使えるんですか？”という事をお尋ねしたんですけど、それはちょっと明確にはわからないというお話でした。ただ、目安としては例年3万～5万ドル位ありまして、一事業に対しては10,000～12,000ドル程度がDDFから支給されるというお話でした。そう考えると年に大体3つ～5つ位の事業が出来る想定になるのだと思います。続きまして、どのような活動にグローバル補助金が活用できるのかについてお話します。

一つ目はロータリーが掲げる7つの重点分野に関わる人道的なプロジェクト。具体的には次のスライドでまとめています。2つ目はVTTといわれる職業研修の活動も対象になっています。3つ目は優秀な人材についての奨学金として活用されるケースがあるという事です。ただし、これはロータリーとの関係性などについて相応の理由がある場合に該当するという事です。ロータリーでは重点分野というのを定められております。

・平和の構築と紛争の予防・疾病予防と治療・水と衛生・母子の健康・基本的教育と識字率向上・地域社会の経済発展・環境の7つです。これらの分野における活動を通じて国を超えた関係を築き、人々の生活を改善し、より平和な世界を推進しています。

ロータリー財団はその為の活動に充てるために補助金を提供しています。今まで2500地区が行ってきた過去のグローバル補助金を使った事業としては、主に水と衛生に関する事業という事で浄水器や手洗器を寄付したり、疾病予防と治療に関する事業として医療機器の購入などの実績があります。

続きまして、グローバル補助金を使うに当たってはいくつか条件があるという事なのでご紹介しています。一つ目は先ほどの7つの重点分野の一つに関わっている事。二つ目はプロジェクトの総予算が3万ドル以上である事。三つ目はスポンサーは資格のある他の地区、またはクラブとパートナーを組むという事です。以上の全てが整っていないとグローバル補

助金は申請することが出来ません。当然、クラブとしても寄付をしていないと、たとえ素晴らしい事業に参加してみたいと思っても、2500地区からその承認という権利を与えてもらう事ができません。ロータリー財団・補助金管理セミナーへの参加が必要条件となります。実施国側のロータリークラブと援助を受ける側の国のロータリークラブの両方が参加資格を受けているという必要が前提になっていますので、例えば2500地区が今までに実施した事のない国を相手国と選ぶ時は一定のハードルが上がることになるかと思えます。そういう活動をしたい場合はグローバル補助金チームに早めに相談が必要ですし、その国、そのロータリークラブの方と密なやり取りが必要になってきます。

また、クラブの資格認定というものがあります。まず1についてですが、補助金管理セミナーというものに参加しておく必要があります。例えば、今年度中にグローバル補助金を活用した事業を行いたいという場合は昨年の10月に実施されていた補助金管理セミナーに飯田会長と平田幹事が出席していた事が必須条件になります。先日、飯田会長に確認したところ、紋別で去年行われたセミナーには参加してきたという事でしたので、西クラブとしては今年度の内に何かしらグローバル補助金の事業を申請しようと思えば出来る状態であるという事がわかりました。もし、来年度に何か行いましょうという場合は今年の10月20日に行われる補助金管理セミナーに森会長エレクトと菊池幹事エレクトの2名の出席が必須になってきます。次に2については、これは1に出席していれば自動的にセットのような形で署名して提出するようなものです。3については、事業を実施する場合はクラブからの1,050ドルの負担というか拠出金が必要になります。これがクラブの資格認定の条件になっています。

続いて、2500地区の使用例として下記の事が挙げられています。1つ目、地区の事業としてタイ3330地区と一事業を実施。2つ目、地区のクラブの事業として実施国のクラブと共同で実施。その場合、クラブからは1,050ドルの拠出金で事業を行う事ができます。3つ目はグローバル補助金の奨学生に対しては2万ドルまでの補助を行う事ができます。4つ目はガバナーの意向で必要と思われるグローバル補助金事業。つまり、ガバナーが是非ともこの事業に使いたい事があると言えば使えます。例えば、他の地区のグローバル補助金プロジェクトや災害協力金として紛争地域への援助などにも使用する事が可能です。昨年の2500地区で行った具体例を参考に紹介します。

テーマが母子の健康に携わる事としてエコー検査機器等の購入というのをしています。相手国のロータリークラブは3330地区タイのスリタップロータリークラブというところでした。実施側は2500地区のロータリーEクラブです。事業費が31,674ドル。3万ドルを超えている必要があるのですがここでクリアはしています。内訳を確認しますと、2500地区の財団活動資金DDFから12,000ドルが出ています。そしてEクラブから1,050ドルの拠出金が出てます。事業を受ける側の3330地区からもDDFから5,041ドルが出ています。これにプラスし

てDDFの80%分がWFから上乗せで加算されるのでその分が13,633ドル。これを全部足すと31,674ドルの事業費になります。このスライドは相手国のスリタップクラブが申請した時の申請画面の一部です。主に機材がズラッと並んでいまして、合計が31,674ドルになっています。この入力というか申請に関しては、してもらおう国側が入力する画面なので、こちらは何かしてあげる側になった場合でも相手国、相手クラブとの連携が非常に重要なものになってくるかなと思います。続いて申請に係る画面のサンプルですが、実施国側と援助国側の情報が書いてあります。あとは担当者名とかですね。これらが入力されてこの申請に対して内容を確認して承認される場合は、ガバナーと財団委員長からの承認を受ける必要があるという事です。

また、グローバル補助金の事業を行う事になったら、現地への視察だったり場合によっては贈呈式のようなものが開催される可能性があると思います。その際にはこのリソースとサポート委員会から一事業に対して20万円の助成金が別途出されるという事です。それプラス1人当たり最大5万円の助成がありまして、旅費だったりお土産だったり訪問時に着るTシャツの購入などに使用されているそうです。

そろそろまとめになりますが、グローバル補助金事業を行う場合は予算規模が大きくなるため地区からのDDFの支給が必要不可欠になってくると思います。実施を考える場合は早めにグローバル補助金チームの相談が必要になってきます。また、2500地区に対して、例えばこのような事をして欲しいというような立候補のような希望がすでにいくつか上がっているという事です。現在はどのようなものがあるのか参考までに表示してみました。学校とかコミュニティの手洗いの設置とか、主には健康に関する様なことで健康危機を防ぐとか手術医療機器を揃えたいとか、緊急治療室の改修とかですね。このような事を希望している声が2500地区にすでに上がっているの、グローバル補助金を使って何かしたいよという事はこれがマッチすればスムーズに事業を推進していく事が出来るんじゃないかなと思ってます。

今日は本当にさわりのところだったんですけど、グローバル補助金のガイドがマイロータリーからダウンロードできます。事業をしてあげた後もそれに対する報告だったりとか、しなければならぬ事がまだまだあるんですけど、今回はこの申請までの事について簡単にご紹介をさせていただきました。

以上です。ご清聴ありがとうございました。